

[72]文學研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2339151>

出版情報：文學研究. 72, 1975-03-31. Faculty of Literature, Kyushu University
バージョン：
権利関係：



彙報

教官人事

大江三郎助教授(英語学)

昭和49年1月1月教授に昇任された。

ギーゼラ・アンナ・シュテュンベル教師(独文学)

昭和49年8月1日外国人教師として着任された。

早田輝洋助教授(言語学)

昭和49年10月1日、日本放送協会総合放送文化研究所から来任された。

九州大学文学部文学科関係講義題目

昭和49年度第1学期(49年4月~10月)

文学概論

臨講

国語学

特研

演習

〃

特講

特研

(名大) 高橋教授

春日教授

〃

春日教授

奥村助教授

演習 国語学の諸問題

〃 近世語(心中天の網島)

特講 倒叙国語史

国文学

特研 平安朝文学史の諸問題

演習 為信集

〃 源氏物語薄雲

特講 王朝和歌論

特研 近世文人伝記研究

演習 談林俳諧

〃 戯作

特講 近世文学の背景

特研 近代文学研究の方法

演習 近代作家の研究

〃 近代文学作品研究

特講 中世連歌・連歌史の諸問題

中国語学

演習 中国言語学史

中国文学

特研 駢文研究

演習 大宋宜和遺事

特研 楚辞

〃 袁中郎文集

〃

〃

〃

今井教授

〃

〃

〃

中野助教授

〃

〃

〃

(教養部) 重松教授

〃

〃

(北九大) 藤原教授

〃

岡村教授

〃

岡村教授

〃

林田助教授

〃

〃

特研	近代作家論 (Baudelaire)	田中	田中	特研	ギリシア語初歩	森	助教授
特講	論文指導	田中	助教授	講読	梵語初歩	伊原	教授
演習	Linguistique et Littérature	田中	助教授	昭和49年度第2学期 (49年10月~50年3月)			
特研	19世紀文学 (Gautier: "Spirite")	田中	助教授	国語学			
特研	Etude de textes littéraires	田中	助教授	特研	国語学史	春日	教授
特研	Littérature; quelques poètes contemporains	田中	助教授	演習	国語学資料研究	春日	教授
特研	Jean Giraudoux: Intermezzo (教養部)	城野	教授	特講	万葉集卷九長歌	春日	教授
特研	バルザック研究	西岡	助教授	特研	日本文法 (活用についての諸問題)	奥村	助教授
特講	言語学史 (続)	西岡	助教授	演習	アクセント史	奥村	助教授
演習	Lyons, Introduction to Theoretical Linguistics	松田	教授	特講	心中天の網島	奥村	助教授
特研	現代標準アラビア語	松田	教授	講義	倒叙国語史	奥村	助教授
特研	Martinet, Elements of General Linguistics	松田	教授	臨講	国語学概論	鶴	教授
特研	旧約原典研究	林	教授	講義	辞書史	山田	講師
特研	構造主義文法理論	林	教授	特研	国文学	山田	講師
特研	記述音韻論の原理	林	教授	特研	平安朝文学史の諸問題	今井	教授
特研	古代語	林	教授	演習	為信集	今井	教授
特研	ラテン語講読	松田	教授	特講	伊勢物語	今井	教授
特研	ラテン語文法	松田	教授	特研	源氏物語成立論	今井	教授
		東光	教授	演習	文人伝記研究	中野	助教授
		東光	教授	特研	俳諧	中野	助教授
		東光	教授	特講	戯作	中野	助教授
		東光	教授	特研	近世文学の背景	中野	助教授
		東光	教授	特研	近代文学研究法	重松	教授

特研	独文学			
特研	中世文学		西田教授	
演習	演劇論			
"	Heinrich Böll		シュテュンペル教師	
"	Thomas Mann			
臨講	仏語学	(福岡大学)	稲元教授	
		(東京都立大)	川村助教授	
演習	Langue française		トナニ教師	
"	Linguistique appliquée et Grammaire			
特研	仏文学		永田教授	
特講	A・シユエ			
演習	フランス古典主義の諸問題			
"	近代作家論			
"	近代短篇選			
特研	現代批評		田中助教授	
演習	Linguistique et Littérature			
"	20世紀文学			
"	Langue et Littérature		トナニ教師	
"	Quelques poètes			
"	Mme de Staël	(教養部)	城野教授	

"	短篇小説研究	(大阪大学)	西岡助教授
臨講	パスカルの時代		赤木助教授
	言語学		
特講	一般言語学		松田教授
演習	旧約原典研究		松田教授
"	現代標準アラビア語(続)		
"	生成音韻論		早田助教授
"	満洲語文法		
"	音声学		
"	サビエアの音韻史論	(教養部)	林教授
"	言語科学のための公準集	(東京教育大)	千野助教授
臨講	古代語		
講読	ラテン語講読		松田教授
"	ラテン語文法	(教養部)	東光教授
"	ギリシア語初歩	(福岡大学)	森助教授
"	梵語初歩		伊原教授

学会・研究室行事

国語学・国文学関係

○九大国語国文学会(49年6月9日)
 筑前方言のアクセント
 近世京坂語と洒落本

稲川順一
 矢野準

「梅曆」以前の為永春水について
近世紀行文の「笑い」

白石良夫
板坂耀子

トカラ列島(中之島・平島)のアクセント

田尻英三

頼盛の都落ちをめぐって

橋口晋三

齋宮女御集の成立年次について

西丸妙子

平治物語の物語構成と序文

翠 栄治

平曲の旋律とことば

奥村三雄

○第24回西日本国語国文学会(49年9月21・22日)

蕉門中興運動の下限

田中道雄

あゆひ抄と助字詳解

佐田智明

「名字」統豹

鶴 久

(公開講演)九州方言と断定法

秋山正次

○語文研究三十六号(49年2月)

芭蕉の杜甫受容小論

石川八朗

——「杜子がいれ」を手がかりに——

石井大

蕉門俳諧師の方法

工藤重矩

——支考の場合——

藤原兼輔(三)

真名書説話の表記意識について

南里みち子

——私聚百因縁集和朝之篇を題材として——

瓜生清

『破戒』論

瓜生清

△種々なる生活状態の形象について

瓜生清

紹介

板坂耀子

井手恒雄著『中世の文芸・非文芸』

板坂耀子

○語文研究福田良輔博士追悼号(49年8月)
術なき恋

瀬古 確

上代日本文献に見える「魚韻」の漢字

藤井茂利

——朝鮮漢字音との関連について——

今井源衛

平安朝文学における僧侶の恋

山口康子

今昔物語集の同一動詞反復形式管見

迫野虔徳

——「に」を介する形式について——

原 栄一

定家の「仮名もじ遣」

福田益和

平家物語副詞覚書その二

佐田智明

古今著聞小考

大内初夫

——名義をめぐって——

中村幸彦

終止形承接のナリについて

重松泰雄

——その中世近世における把握——

春日和男

行脚俳諧師石蘭と「梅の会集」

白石悌三

仕形咄考

宗像乃里子

鷗外における△歴史△への開眼

——一つの覚え書き——

仮名遣ひ以前——古筆の表記について——

追悼集「谷の鶯」翻刻と解題

中国文学関係

○中国文学研究発表会

第四十二回(昭・49・1・27)

李賀について

嵇康について

第四十三回(昭・49・4・7)

『詩経』二南について

文華以後の中国詩について

第四十四回(昭・49・9・8)

近世白話文学における語戲

『又玄集』編纂時における章莊

○九州中国学会(於九州大学・49・5・26)

本学関係発表者

阮籍「詠懷詩」についての一考察

魚玄機放

洋務運動における知識人の思想

○日本中国学会第二十六回大会

(於二松学舎大学・49・10・12) 10・13)

(九大関係分)

『又玄集』編纂時における章莊

近世白話文学における語戲

○「中国文学論集」(濱一衛先生退官記念号)

濱さんのこと

日本における京劇——その演目と俳優——

揚雄の文学・儒学とその立場

魏収の文学傾向について

魏晋の遊仙詩における郭璞の位置

華李の思想と文学

松浦 崇

藤井 良雄

秋吉 久紀夫

阿部 泰紀

川北 泰彦

由元 由美子

秋吉 久紀夫

中屋敷 宏

川北 泰彦

阿部 泰紀

藤井 良雄

秋吉 久紀夫

中屋敷 宏

由元 由美子

秋吉 久紀夫

中屋敷 宏

川北 泰彦

阿部 泰紀

目加田 誠

濱 一衛

岡村 繁

矢嶋 徹輔

由元 由美子

劉 三富

顧況の諷刺詩——上古什補亡訓傳十三章について——

人虎傳と山月記

蘇東坡文学における卑俗の高雅化

『孽海花』の文体——美への追求——

魯迅旧詩「自題小像」考

——その「打油」詩としての試論

抗日戦争前の延安地区文学運動 上

整風運動の研究

——四好中隊運動の論理——

書 評

郭沫若著「李白与杜甫」の「关于杜甫」について

資料紹介

劉念茲氏の「從建国後發現的一些文物看金元雜劇在平陽地区發展」

○「目加田誠博士古稀記念中国文学論集」(49・10)

(九大関係分)

先秦愚民譚

左思の文学

南朝梁府詩と遊女娼妓の世界

秦州における杜甫

——五言律詩多作の動機

元結における文学的軌跡

元結における文学的軌跡

元結における文学的軌跡

元結における文学的軌跡

小西 昇

上尾 龍介

合山 究

麦生 登美江

山田 敬三

秋吉 久紀夫

中屋敷 宏

張彦遠『歴代名画記』の選述過程

李商隱——その青年期について

唐代伝奇小説考

——西陽雜俎を手がかりに——

蘇東坡の自然観

梁啓超の詩論と詩界革命

——杜甫と黄遵憲を中心に——

陳海澗の「王充の哲学思想」をめぐって

三好達治における漢詩の受容

英語学・英文学関係

○日本英文学会第27回九州支部大会

(昭和49年10月26・27日、於別府大学)

本学関係発表者

A Midsummer Night's Dream ぎーFancyをめぐって

『ハムレット』に於けるGhostについて

ワースワストンリートをめぐって——Lyrical Ballads

初版とその後の改訂

Christabelについて

『ヘンディックスン』の象徴性

Laurence Sterne へのYorick—Between A

Sentimental Journey and The Journal to Eliza

岡村 繁	垂永 英彦	諸井 耕二	合山 究	麦生 登美江	秋吉 久紀夫	上尾 龍介	坂本 武
濱 咲 誠	徳 見 道 夫	山 中 光 義	松 田 修 明	山 内 正 一			

Withering Heights における「荒野」の意味するもの

『息子と恋人』から『虹』「恋する女たち」へ 馬本 誠 也

ヴァーシニア・ウルフにおける「瞬間」 大屋 ふく代

Hemingway の女性観 藤内 まり子

Hawthorne, The Marble Faun——罪と救済の問題を

中心として 金子 光 茂

Conversion に関する一考察——特に英語史的観点から 磯 部 薫

みた場合を中心として 磯 部 薫

反転音 (retroflex) と気音 (aspirate) の種々相 西原 忠 毅

Some Considerations on Agent and Instrument in

Case Grammar 高島 直 樹

Causative に関する考察 此 枝 洋 子

シンポジウム

英文学部門

John Webster の世界 (司会) 八 木 幹

特別講演

Degrees of Abstraction 空 西 哲 郎

古 屋 靖 章

蛭 原 治 啓

空 西 哲 郎

独文学関係

○日本独文学会西日本支部学会

(昭和11月30日、12月1日、於熊本大学)

本学関係発表者

G・F・マイヤーの粹小説

リルケの詩法

仏文学関係

○日本フランス語フランス文学会秋季大会

(昭和49年10月13日、於岡山大学)

本学関係発表者

『オーレリア』——一人称形式の“*je*”を中心として

山田陽子